令和5年11月17日

交 通 事 故 概 況

令和 5年 10月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況(10月末計上数(確定数))

1 令和5年10月中の交通事故発生状況

区分\内容	10月中	前年比	10月末	前年比
発生件数 (件)	870	99	7, 263	399
死者数(人)	15	2	104	8
傷者数(人)	993	113	8, 463	499

[過去10年、10月中、10月末及び年間死者の推移]

ſ	区分\年別	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	過去	平均
l	区为《平厕	1120+	11204	1121+	11204	11254	11304	K九十	11/2-4	1/3+	1/4+	10か年	5か年
ſ	10月中死者数	23	16	19	19	16	10	21	11	12	13	16	13
I	10月末死者数	147	144	151	122	122	114	125	115	95	96	123	109
ſ	年間死者数	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	151	134

R5年 15 104

都道府県別(10月中)

順	41	<u>V.</u>	1	2	3	4				
都追	自府県名	Ä	神奈川	愛知	北海道	東京	千葉	埼玉		
死	者数	汝	19	17	15		12			

1月)	旦別宗別	(10月本)				
順	位	1	2	3	4		5
都	道府県名	愛知	大阪	北海道	東京	神奈川	千葉
死	者 数	123	117	104	103	9	6

2 交通死亡事故の発生状況

- (1) 10月中の死亡事故(死者数15人)
 - 事故類型別:人対車両が7人(46.7%)、正面衝突、車両単独が各々3人(20.0%)
 - 道路別:国道が8人(53.3%)
 - 地形・道路形状別:市街地直線が6人(40.0%)、市街地交差点、非市街地カーブが各々3人(20.0%)

和煤柱间间(10日本)

- 発生時間別:16~18時が4人(26.7%)、10~12時が3人(20.0%)
- 第一当事者年齢別(第1当原付以上):50歳代運転者、高齢運転者が各々4人(26.7%)
- 第一当事者違反別(第1当原付以上):前方不注意が8人(53.3%)
- O **死者年齢別**: 高齢の死者数が8人(53.3%)
- (2) 10月末の死亡事故(死者数104人)

〇 事故類型別:

- ・人対車両が32人30.8% (うち前方不注意が12人37.5%、歩行者妨害が6人18.8%)
- ・車両単独が29人27.9%(うち前方不注意が12人41.4%、最高速度が7人24.1%)
- ・正面衝突が27人26.0% (うち前方不注意が17人63.0%)

〇 道路別:

- 国道が51人49.0%(うち正面衝突が18人35.3%、車両単独が14人27.5%)
- 市町村道が24人23.1%(うち人対車両が14人58.3%)
- 道道が23人22.1%(うち正面衝突、出会い頭が各々6人26.1%)

〇 地形·道路形状别:

- ・非市街地カーブが28人26.9%(うち正面衝突が18人64.3%、車両単独が10人35.7%)
- ・市街地交差点が26人25.0%(うち人対車両が16人61.5%)

〇 発生時間別:

- ・10~12時が18人17.3%(うち正面衝突が9人50.0%)
- 12~14時が13人12.5% (うち人対車両、正面衝突が各々4人30.8%)

〇 第一当事者年齢別(第1当原付以上):

- ・高齢運転者による死者が29人27.9%(うち車両単独が11人37.9%、正面衝突が8人27.6%)
- ・40歳代運転者による死者が18人17.3% (うち人対車両が9人50.0%、出会い頭が5人27.8%)
- ・50歳代運転者による死者が18人17.3% (うち車両単独が7人38.9%、人対車両が6人33.3%)

〇 第一当事者違反別(第1当原付以上):

- 前方不注意が44人42.3%(うち正面衝突が17人38.6%、人対車両、車両単独が12人27.3%)
- ・最高速度が11人10.6% (うち車両単独が7人63.6%、正面衝突が4人36.4%)

死者年齢別:

- ・高齢者の死者数が44人42.3%(うち人対車両が21人47.7%、車両単独が10人22.7%)
- 50歳代の死者数が19人18.3% (うち車両単独が7人36.8%、正面衝突が6人31.6%)

〇 シートベルト着用者

自動車乗車中の死者52人中、シートベルト非着用者は16人(30.8%)であり、そのうちの11人は、シートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

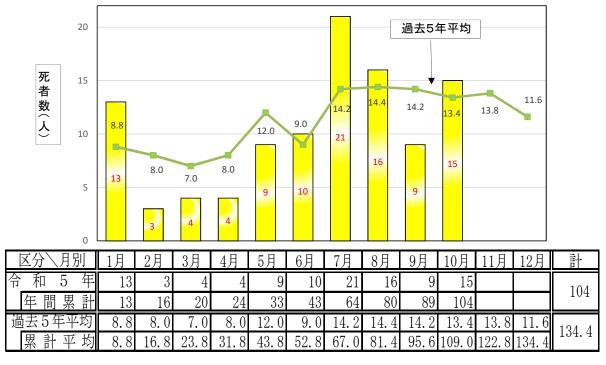
10月中の死者数は札幌方面が6人(40.0%)、釧路方面が4人(26.7%)、函館方面、旭川方面が2人(13.3%)、北見方面が1人(6.7%)、となっている。

10月末の死者数は札幌方面が51人(49.0%)、釧路方面が20人(19.2%)、旭川方面が15人(14.4%)、函館方面が10人(9.6%)、北見方面が8人(7.7%)となっている。

	方面	訓\	区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比	j	方面別\区	分	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
	1	全	道		870	99	15	2	993	113		全	道	7, 263	399	104	8	8, 463	499
	†	l 帳	力	面	652	48	6	1	743	54		札幌	方面	5, 360	194	51	2	6, 228	264
10 月	787	函館	方	面	55	13	2	1	64	16	10 月	函館	方面	457	-30	10	4	549	-33
中	ħ	E JI	方	面	63	15	2	1	75	18	末	旭川	方面	549	13	15	-4	645	-8
	至	川路	方	面	69	5	4	-1	76	3		釧路	方面	696	185	20	2	794	227
	7	比 見	方	面	31	18	1		35	22		北見	方面	201	37	8	4	247	49

(4) 月別発生状況の推移

10月中の死者数は15人で過去5年平均13.4人を上回っている。 10月末の死者数は104人で過去5年平均109.0人を下回っている。



(5) 都道府県別死者数

10月中は神奈川県が19人で最も多く、次いで愛知県が17人、北海道が15人、東京都、千葉県、埼玉県が各々12人となっている。

10月末は愛知県が123人で最も多く、次いで大阪府が117人、北海道が104人、東京都は103人、神奈川県、千葉県が各々96人で5位となっている。

区分\都道府県	神奈川	愛知	北海道	東京	千葉	埼玉	岐阜	茨城	兵庫	静岡	全国
10月中死者数	19	17	15	12	12	12	11	10	10	9	252
ワースト順位	1	2	3	4	4	4	7	8	8	10	_
前年比	10	0	2	-3	-2	5	0	3	1	0	-9
増減率(%)	111.1	0.0	15. 4	-20.0	-14.3	71.4	0.0	42. 9	11.1	0.0	-3.4

区分\都道府県	愛知	大阪	北海道	東京	神奈川	千葉	埼玉	福岡	茨城	兵庫	全国
10月末死者数	123	117	104	103	96	96	92	80	79	78	2, 124
ワースト順位	1	2	3	4	5	5	7	8	9	10	
前年比	12	2	8	-2	11	-4	6	25	15	-22	46
増減率(%)	10.8	1. 7	8.3	-1.9	12.9	-4.0	7.0	45. 5	23. 4	-22.0	2.2

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が51人(49.0%)、次いで市町村道が24人(23.1%)、道道が23人(22.1%)となっている。

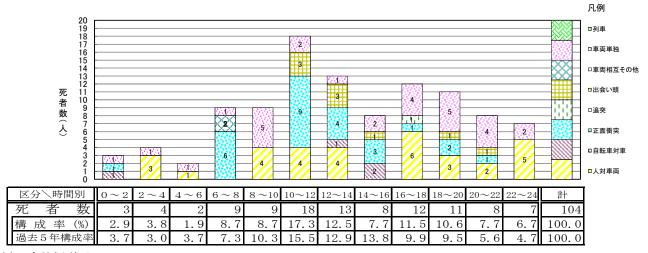
- ・国道は非市街地カーブが16人(31.4%)、非市街地直線が11人(21.6%)
- ・市町村道は市街地交差点が10人(41.7%)、市街地直線が8人(33.3%)
- ・ 道道は市街地交差点が9人(39.1%)、非市街地カーブが8人(34.8%)



(2) 時間別

10~12時が18人(17.3%)、次いで12~14時が13人(12.5%)となっている。

- ・10~12時は正面衝突が9人(50.0%)
- ・12~14時は人対車両、正面衝突が各々4人(30.8%)



(3) 事故類型別

人対車両が32人(30.8%)、次いで車両単独が29人(27.9%)、正面衝突が27人(26.0%)となっている。

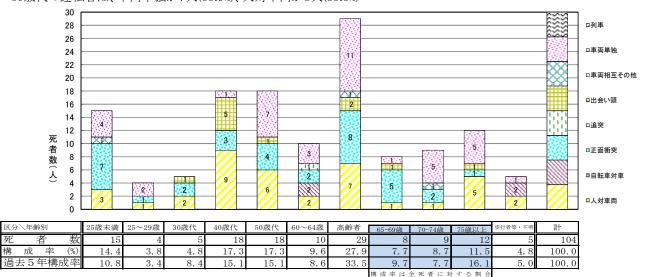
- ・ 人対車両は、前方不注意が12人(37.5%)、歩行者妨害(その他に含まれる)が6人(18.8%)
- ・ 車両単独は、前方不注意が12人(41.4%)、最高速度が7人(24.1%)
- ・正面衝突は、前方不注意が17人(63.0%)

凡例 ■その他 32 30 28 26 □安全義務他 02000 6 □前方不注意 24 22 20 18 16 14 12 死者数(人) □操作不適 17 ■一時不停止 12 □信号無視 10 □追越し等 8 2 12 6 □最高速度 X 4 □洒酔い 類型別 両 相 車 自転車 人対車両 車両単独 列 車 車 正面衝突 追 突出会い頭 その他 104 7 . 0 1. 9 構成率(%) 30.8 3.8 26.027 9 100.0 8. 過去5年構成率 26. 5.6 19. 1 . 6 9.9 4. 31. 0.6 100.0

(4) 第一当事者の年齢層別

高齢運転者が29人(27.9%)、次いで40歳代、50歳代の運転者によるものが各々18人(17.3%)となっている。

- ・高齢運転者は、車両単独が11人(37.9%)、正面衝突が8人(27.6%)
- ・40歳代の運転者は、人対車両が9人(50.0%)、出会い頭が5人(27.8%)
- ・50歳代の運転者は、車両単独が7人(38.9%)、人対車両が6人(33.3%)



凡例

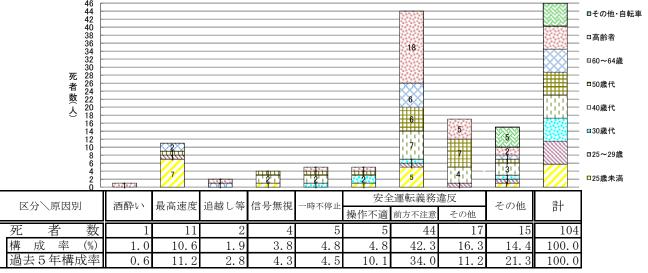
凡例

凡例

(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが44人(42.3%)、次いで最高速度によるものが11人(10.6%)となっている。

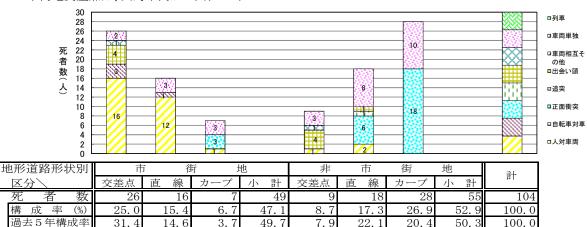
- ・前方不注意は、高齢運転者が18人(40.9%)、40歳代の運転者が7人(15.9%)
- ・最高速度は、若年運転者が7人(63.6%)



(6) 地形•道路形状別

非市街地カーブが28人(26.9%)、次いで市街地交差点が26人(25.0%)となっている。

- ・非市街地カーブは、正面衝突が18人(64.3%)、車両単独が10人(35.7%)
- 市街地交差点は、人対車両が16人(61.5%)



(7) 曜日別

日曜日が24人(23.1%)、次いで木曜日が20人(19.2%)となっている。

121

10

- ・ 日曜日は、観光・娯楽が7人(29.2%)、業務が6人(25.0%)
- ・ 木曜日は、通勤が5人(25.0%)、観光・娯楽、買物が各々4人(20.0%)

八例ロその他
ロ送迎
ロ訪問
ロ買物
ロドライブ
ロ観光・娯楽

「通勤

	0								
E	区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
Γ	死 者 数	24	16	11	8	20	11	14	104
ı	構 成 率 (%)	23. 1	15. 4	10. 6	7. 7	19. 2	10.6	13. 5	100.0
L	過去5年構成率	18. 9	12. 5	13. 6	14. 6	14. 4	13. 3	12. 7	100.0

2

3

\

4

11.

4

5

3

<u>\</u>2\

3

3

3

(8) 状態別·年齢層別

22 20

18

16

14

10

8

4

2

死者数(人)

3

7

3

死者の年齢層別では、高齢者が44人(42.3%)で、うち75歳以上が30人(68.2%)となっている。 四輪乗車中の死者が52人(50.0%)、次いで歩行中の死者が32人(30.8%)となっている。

2

3

240

3

- ・四輪乗車中の死者別年齢層は、高齢者の死者が17人(32.7%)、50歳代の死者が10人(19.2%)
- ・歩行中は、高齢者の死者が21人(65.6%)、50歳代の死者が5人(15.6%)

死者数(人)

□業務中

15歳以下 16~24歳 3 - i 🛞 25~29歳 30歳代 40歳代 2 50歳代 60-64歳 2 高齢者 3 65-69歳 70-74歳 2 75歳以上 凡例 二輪 原付乗車中 自転車乗用中 その他 四輪・特殊車乗車中

年	状 齢層別	態別		四 輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中	自転車乗用中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下	死	者	数	1			2		3	2. 9	2. 4
16~24歳	死	者	数	8	3		1		12	11.5	7. 3
25~29歳	死	者	数	2	1	1			4	3.8	3. 0
30歳代	死	者	数	5			1		6	5.8	6. 7
40歳代	死	者	数	5	2	1			8	7.7	9.0
50歳代	死	者	数	10	4		5		19	18. 3	12. 5
60~64歳	死	者	数	4	2		2		8	7.7	7. 3
高齢者	死	者	数	17	3	3	21		44	42.3	51.8
65-69歳	死	者	数	2		1	2		5	4.8	9. 7
70-74歳	死	者	数	6	2		1		9	8.7	9. 3
75歳以上	死	者	数	9	1	2	18		30	28.8	32. 7
-	死	者	数	52	15	5	32		104	100.0	
計	構	成	率	50.0	14. 4	4.8	30.8		100.0	_	_
	過去5	5 年構	成率	49.5	15.9	7. 1	27. 1	0.4	100.0	_	_

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者52人中、シートベルト非着用者は16人(30.8%)となっている。 非着用者の16人のうち、11人は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。

死者数(人) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38



$\overline{}$	、 状態別													
	1/(18:7)	四輪		着	用				非	着		用		着用
Þ	☑分 \	乗車中	計	運転者	同 勇	き 者	計	運	転 者	同乗者	f(助手席)	同乗者	(後部席)	不明
Ľ	- "	等	рΙ	建製有	助手席	後部席	PΙ		生存可		生存可		生存可	1 91
	令和5年	52	34	26	3	5	16	11	6	1	1	4	4	2
	構成率(%)	100.0	65.4	76. 5	8.8	14.7	30.8	68.8	54. 5	6.3		25. 0		3.8

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が6人(37.5%)、50歳代が3人(18.8%)となっている。

D	区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65~69歳	70~74歳	75歳以上	その他・不明	計
Г	ベルト着用	7	1	4	4	5	2	11	2	3	6		34
L	構成率(%)	20.6	2. 9	11.8	11.8	14.7	5. 9	32.4	5.9	8.8	17.6		100.0
Г	ベルト非着	2	1	1	1	3	2	6		3	3		16
ı	構成率(%)	12. 5	6. 3	6.3	6.3	18.8	12.5	37. 5		18.8	18.8		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。 高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。 着用不明を除く。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者16人の損傷加害部位をみると座席が4人(25.0%)、天井、車内他が各々3人(18.8%)となっている。

	区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントカ゛ラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
Г	ベルト着用			11	2	1	4	1		4	9	2	34
	構成率(%)			32.4	5. 9	2. 9	11.8	2.9		11.8	26.5	5. 9	100.0
Г	ベルト非着	1	1	1		1			3	4	3	2	16
	構成率(%)	6.3	6.3	6.3		6.3			18.8	25. 0	18.8	12.5	100.0
	運転者		1	1		1			3	1	2	2	11
	構成率(%)		6.3	6.3		6.3			18.8	6.3	12. 5	12. 5	68.8
	同 乗 者	1								3	1		5
	構成率(%)	6.3								18.8	6.3		31.3

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。 但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用 の合計数に対する割合。 着用不明を除く。